

# 千葉県感染症発生動向調査情報

2018年 第8週 (2/19-2/25) の発生は？

## 1 定点報告対象疾患(五類感染症)

| 報告のあった定点数 | 8週 | 7週 | 6週 | 5週 |
|-----------|----|----|----|----|
| 小児科       | 18 | 18 | 18 | 18 |
| 眼科        | 5  | 5  | 5  | 5  |
| インフルエンザ*  | 28 | 28 | 27 | 28 |
| 基幹定点      | 1  | 1  | 1  | 1  |

上段:患者数

下段:定点当たりの患者数

「定点当たりの患者数」とは  
報告患者数/報告定点数。

| 定点   | 感染症名                      | 注意報 | 千葉県       |           |          |          | 千葉県       |
|------|---------------------------|-----|-----------|-----------|----------|----------|-----------|
|      |                           |     | 2/19-2/25 | 2/12-2/18 | 2/5-2/11 | 1/29-2/4 | 2/12-2/18 |
|      |                           |     | 8週        | 7週        | 6週       | 5週       | 7週        |
| 小児科  | RSウイルス感染症                 |     | 4         | 5         | 3        | 2        | 31        |
|      | 咽頭結膜熱                     |     | 0         | 0         | 2        | 0        | 18        |
|      | A群溶血性レンサ球菌咽頭炎             | ○   | 51        | 33        | 36       | 52       | 324       |
|      | 感染性胃腸炎                    |     | 55        | 59        | 62       | 90       | 510       |
|      | 水痘                        |     | 2         | 2         | 3        | 3        | 25        |
|      | 手足口病                      |     | 0         | 1         | 0        | 1        | 5         |
|      | 伝染性紅斑                     |     | 0         | 1         | 0        | 0        | 13        |
|      | 突発性発しん                    |     | 5         | 8         | 7        | 5        | 31        |
|      | ヘルパンギーナ                   |     | 0         | 0         | 0        | 0        | 0         |
|      | 流行性耳下腺炎                   |     | 3         | 1         | 1        | 0        | 8         |
| インフル | インフルエンザ*(高病原性鳥インフルエンザを除く) | ↓↓★ | 459       | 686       | 1,383    | 1,806    | 6,173     |
| 眼科   | 急性出血性結膜炎                  |     | 0         | 0         | 0        | 0        | 0         |
|      | 流行性角結膜炎                   |     | 0         | 0         | 5        | 0        | 22        |
| 基幹定点 | 細菌性髄膜炎<br>(髄膜炎菌性髄膜炎を除く)   |     | 0         | 0         | 0        | 0        | 0         |
|      | 無菌性髄膜炎                    |     | 0         | 0         | 0        | 0        | 0         |
|      | マイコプラズマ肺炎                 |     | 0         | 0         | 1        | 1        | 2         |
|      | クラミジア肺炎<br>(オウム病を除く)      |     | 0         | 0         | 0        | 0        | 0         |
|      | 感染性胃腸炎<br>(ロタウイルスに限る)     |     | 1         | 0         | 0        | 0        | 0         |

★★:流行中 ★:やや流行中 ○:増加 ○:やや増加 →:変化なし ↓:やや減少 ↓↓:減少

## 2 全数報告対象疾患(9件)

| 病名                 | 性  | 年齢層   | 診断(検査)方法              | 病名             | 性  | 年齢層   | 診断(検査)方法    |
|--------------------|----|-------|-----------------------|----------------|----|-------|-------------|
| 結核                 | 男性 | 90歳代  | 画像診断                  | 劇症型溶血性レンサ球菌感染症 | 男性 | 40歳代  | 病原体の検出      |
| 結核                 | 女性 | 80歳代  | 病原体の検出                |                |    |       |             |
| E型肝炎               | 男性 | 40歳代  | 血清IgA抗体の検出            | 百日咳            | 男性 | 60歳代  | 血清IgG抗体の検出  |
| カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症 | 男性 | 50歳代  | 細菌の検出、薬剤耐性の確認及び起因菌の判定 | 百日咳            | 女性 | 10歳未満 | 血清IgG抗体の検出等 |
|                    |    |       |                       | 百日咳            | 女性 | 70歳代  | 血清IgG抗体の検出  |
| 侵襲性肺炎球菌感染症         | 男性 | 10歳未満 | 病原体の検出                | -              | -  | -     | -           |

\*第8週は、結核2件(28)、E型肝炎1件(1)、カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症1件(1)、劇症型溶血性レンサ球菌感染症1件(2)、侵襲性肺炎球菌感染症1件(5)、百日咳3件(8)の報告があった。

※ ()内は2018年の累積件数。但し、累積件数は速報値であり、データが随時訂正されるため変化します。

## 定点当たり報告数 第8週のコメント

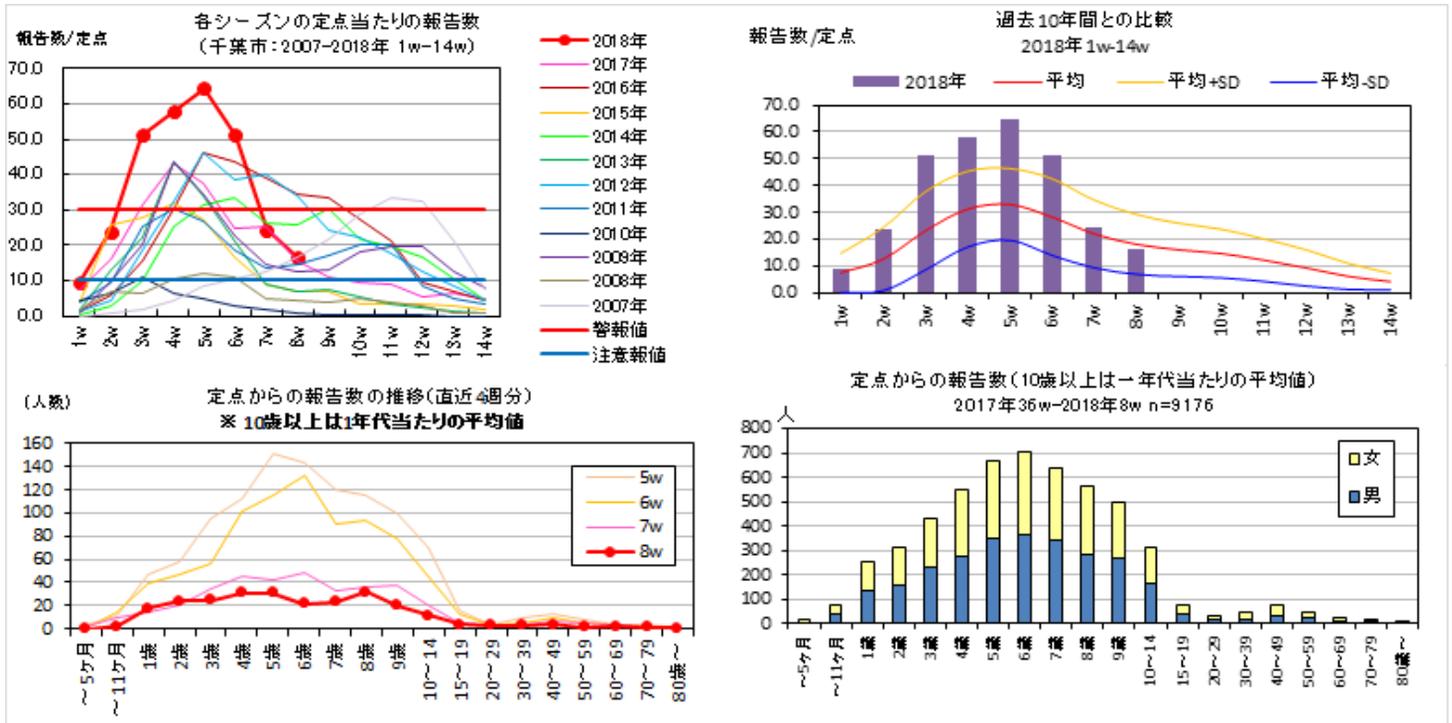
<A群溶血性レンサ球菌咽頭炎> 前週より増加し2.83となった。過去10年の同時期と比べるとやや多め。

<インフルエンザ> 前週より更に減少し16.39となった。流行発生警報終息基準値は上回ったままで、過去10年の同時期と比べるとやや少なめ。

■ トピック ■

＜インフルエンザ＞

全国レベルの第7週は前週より減少し、流行発生警報開始基準値を下回りました。流行発生警報終息基準値(10.0/定点)は上回っています。過去10年の同時期と比べると多くなっています。都道府県別では沖縄県、高知県、宮崎県の順で多く報告されています。千葉県はほぼ全国レベルと同等となっています。千葉市の2018年第8週は前週より更に減少し16.39となりました。流行発生警報終息基準値(10.0/定点)は上回ったままで、過去10年の同時期と比べるとやや少なめとなりました。区別の発生状況は、中央区(21.8/定点)で流行発生警報終息基準値を上回り最多で、同区の40歳代で最多、一年代当たりでは8歳で最も多く発生報告がありました。その他の区は花見川区以外全て流行発生警報終息基準値を上回っています。型別迅速診断結果では、第8週はA型が20.3%、B型が67.3%となっており、B型が7割近くを占めています。今シーズンである2017年第36週から2018年第8週までの累積報告数(n=9176)によると、性別では男性が50.1%(4595名)、女性が49.9%(4581名)で、年齢階級別の一年代当たりでは6歳(7.6%:701名)、5歳(7.3%:669名)、7歳(6.9%:637名)の順に多くなっており、20歳未満は全体の72.7%、10歳未満は全体の51.3%となっています。



|               | 第8週 | 市全体   | 中央区  | 花見川区  | 稲毛区  | 若葉区  | 緑区   | 美浜区  |
|---------------|-----|-------|------|-------|------|------|------|------|
| 基準値超過         |     | 終息    | 終息   | -     | 終息   | 終息   | 終息   | 終息   |
| 過去10年の同時期との比較 |     | やや少なめ | ほぼ平均 | やや少なめ | やや多め | やや多め | やや多め | ほぼ平均 |
| 昨年の同時期との比較    |     | 多い    | 少ない  | 少ない   | 少ない  | 多い   | 少ない  | 多い   |

＜A群溶血性レンサ球菌咽頭炎＞

全国レベルの第7週は、過去10年の同時期と比べると少なめとなっています。都道府県別では鳥取県、山形県、北海道の順で多く報告されています。千葉県は全国レベルと比べるとやや多めとなっています。千葉市の第8週は前週より増加し2.83となり、過去10年の同時期と比べるとやや多めとなりました。区別の発生状況は、緑区(6.5/定点)で最多で、同区の4歳で最も多く発生報告がありました。今シーズンである2017年第36週から2018年第8週までの累積報告数(n=845)によると、性別では男性が54.7%(462名)、女性が45.3%(383名)で、年齢階級別では5歳(14.2%:120名)、4歳(13.1%:111名)、6歳(12.3%:104名)の順に多くなっています。

